

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 3 年 6 月 1 日

(評価回答数:15名)

事業所名: いっぱい

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	8	2	0	・1階は、新たに室内パーテーションを設置し利用者に合わせたスペース取りを確保出来ている。	・2階スペースの効果的活用を継続して検討。 過ごし易い空間と階段等の安全性確保を引き続き検討して参ります。 ・室内、屋外活動等、活動の分散化を取り入れ密環境を避けるようにする。 散歩の活用
	2 職員の配置数は適切であるか	7	7	1	0	・アルバイト、ボランティアの参加を活用しています。	・職員の配置数は適切に行っています。児童指導員、保育士の層を厚くすると共に有資格者等の採用強化を進めます。 ・病気等長期休暇時の人員補強体制
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	8	3	0	・手すり、パーテーション等を設けて改善しています。	・段差の解消、スロープ設置、階段等の安全性強化を可能な限り順次改善していきます。 ・手すり等が滑りやすい環境改善
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	9	2	0	・毎月の職員会議への参画と周知を行っています。	・非常勤職を含め全職員参画での業務改善の話合いの場を定期的に設けPDCAの確実な実施を図ります。 ・情報共有の方法を見直し、改善。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	8	0	0	・評価表アンケート、定期的面談等により保護者様の意向、要望の聞き取りと話合いを意欲的に行っています。	・継続して保護者様の評価、要望等のアンケート、面談等の活動をより強化します。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	2	0	1	・自己評価結果を法人ホームページへ公開しています。	・自己評価結果公開はホームページ上に毎年行います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	7	3	1	・未実施です。	・第三者による外部評価の導入を検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	6	0	0	・コロナ禍により研修機会が減少しました。	・人の密集環境を避け、リモートオンライン研修等の受講に切り替えました。 コロナ禍では当面オンライン研修を優先します。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	2	1	1	・契約時に児発管も必ず同席しアセスメントを行う。	・アセスメントの方法を見直し、ニーズや課題をより客観的に聞き取り出来るようシートを変更。 ・アセスメント内容等の標準化を行い、関係職員
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	7	1	1	・アセスメントツール活用を定着定めていきます。	・標準化されたアセスメントツール等が不足しています。有効なツール等を準備していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	5	0	1	・常勤職中心で話合い、立案を行っています。	・非常勤職を含めた提案を加味し、一体的に立案できる体制作りを行います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	4	1	1	・利用の子ども達に合わせて日々の活動を決めています。	・各々の活動プログラムが何を目的として活動しているのかの意識と理解を再確認する。 ・出来ることと出来ないこと 達成率を共
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	5	1	0	・長期休暇、土曜日利用等に応じた課題対応をしています。	・平日、土曜日、長期休暇等夫々の課題に応じた支援プログラムを整え、充実させてまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1	0	1	・日々ご利用者の状況に応じた活動を個別に展開しています。	・ご利用者の状況に応じた個別、集団活動プログラムを整備し、いつでも柔軟に活用出来るようにします。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	0	0	0	・毎日、常勤職で打合せしその後、非常勤職に伝達、周知、確認しています。	・常勤職員の打合せをより密にし、非常勤職を交えた話合いの時間を充実することによってコミュニケーションが多く取れるように改善していきます。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	6	1	0	・振り返り、気付いた点等の伝達、周知を日報等で全員に届くようにしています。	・日報での伝達、確認及び翌日ミーティングでの再確認の徹底を通して周知、共有の確率を高めることを徹底します。 ・送迎に出ている職員
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	0	0	・日々の支援記録は確実に毎日実行されています。	・日々の支援記録の検証・精査の方法を検討し、その後の改善に繋げる仕組みを考えて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	8	1	2	・児発管が中心となり定期的に行っています。	・児発管の定期的な計画見直しと管理者を含めた話し合いを行い、直接指導員まで周知する仕組み作りを行うと共にルーチン化していきます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	7	1	2	・主に管理者、児発管が中心となり基本活動を組み合わせる支援を行っています。	・ガイドライン総則を全員に配る等して、全職員が理解し支援に活かせるようにして参ります。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	2	0	2	・児発管等、子ども達を熟知した指導員が出席しています。	・引き続き子ども達に最も精通した職員が参画して参ります。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	13	1	0	1	・学校との情報共有は常に全員が意識し活動しています。送迎時等担任の先生等と当日の情報交換を行い支援に反映しています。	・現状の活動を維持しながら、更に学校との情報交換と連携を密にして日々の活動に反映して参ります。 ・行事、時刻等必要事項は複数の職員で確認するようにしています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	5	2	・保護者様との連絡ルールの作成、共有を行っています。	・保護者様と連携しながら最低限必要な主治医等と連絡体制を整備して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6	3	2	・保護者面談時等にて保護者者と情報共有しています。	・今後、保護者様の了解を頂いた上で、可能な範囲で就学前に利用していた保育所、幼稚園等との情報交換、連携を取って参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	3	1	2	・要請があった時は丁寧に対応しています。 ・必要に応じ提供、共有に努めている。	・卒業後のご利用者の就労、生活介護等の利用機会を考慮し、関係支援機関との連携の場、機会を広げると共に、情報共有を図って参ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	4	2	・児発管、管理者等が中心となり、専門機関との連携を行っています。	・事業所として専門機関との連携強化は不可欠です。今後、組織としての連携強化の仕組み作りを進めます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	11	1	・外出、お散歩時等に他の子ども達と接触する機会があります。	・今後、必要に応じ地域の児童クラブ、児童館等との交流も検討して参りたいと思います。 ・地域との交流、連携の場を意識して活動してまいります。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	4	2	2	・管理者、児発管等が中心となり積極的に参加しています。	・自立支援協議会等を通じて関係支援機関との連携ネットワーク作りを目指します。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	0	2	・保護者様とは日常積極的に情報交換し、状況や課題についての共通理解を深めています。	・毎日の送迎時、電話、保護者面談時等、あらゆる機会を使い保護者様との情報交換を更に深め参ります。事業所として最も重要視している課題の一つです。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	8	2	2	・保護者様とは個別に話し合いを持って対応力の向上、情報交換等の支援を行っています。	・子供たちとご家族保護者の支援は事業所としての基本方針です。保護者様との課題等の共有と対応力向上の支援、講師を招いてのペアレント・トレーニング研修等、を実施して参ります。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	5	0	2	・ご利用契約時、保護者面談時等での説明をできる限り丁寧に行っています。	・保護者の方々が必要時何時でも閲覧できるマニュアル等情報の閲覧とネットワーク上での開示方法の構築を検討してまいります。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない		無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ			
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	4	0	2	・保護者様よりの相談には積極的に対応し、必要な助言と支援を行っています。	・相談への対応、支援は継続し更に強化して参ります。他の専門機関等の連携も含め、支援の輪を広げて参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	7	2	・茶話会等、保護者様同士の連携の場の提供を行っています。	・卒業生保護者を招き近況を聞いたり、他の保護者との連携を支援する等の機会を増やす。 (本年度はコロナ禍で開催出来ませんでした)
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3	0	0	・苦情についての苦情受付対応窓口、体制を作り迅速な対応、解決に努めています。	・常に迅速で誠意を持った対応に努めています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	1	・毎月の「いっぱい通信」、毎日のブログでの活動状況情報発信、日々の連絡帳等による連絡等を欠かさず発信しています。	・保護者様への情報発信、伝達は今後とも発信手段、方法等を改善しながら強化して参ります。放課後等デイサービス事業、単独のホームページも開設しました。今後とも強化して参ります。
	35 個人情報に十分注意しているか	14	1	0	0	・日々、業務上での遵守確認、周知徹底を行っています。	・個人情報管理についての周知徹底を継続し遵守して参ります。 ・シュレッダー機械の台数を増やす検討。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	1	0	0	・障がいのあるご利用者、保護者との意思の疎通、情報伝達・共有には特に配慮をしています。	・絵カード、個別連絡帳、個別のお手紙等を含め状況に配慮しながら、情報伝達、交換等支援を進めて参ります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	10	1	・以前、音楽演奏会等不定期に行っていたが近年は実施されていない。	・地域との関係作りは事業所としての課題です。地域活動への参加を常に意識し、地域ケアプラザ、地区社協、自治会、障がい児保護者会等、地域団体との関係作りを行うて参ります。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	7	1	0	・マニュアル整備を再点検し不足しているものを整備します。	・整備されたマニュアル類は保護者に周知し、希望する保護者はいつでも閲覧出来るような仕組みを作ります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	0	0	・毎月、ご利用者参加の避難訓練を実施し、効果を上げています。	・事業所内、屋外への避難訓練、抜き打ち訓練等を毎月継続し、有事の際に役立つレベルまで習熟度を高めます。今後、シミュレーション訓練等、実際に役立つメニューの施行をを検討。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	5	1	1	・常勤職員の研修参加は行えている。	・事業所内研修等により非常勤職員を含めた全員参加の研修機会を作ると共に、日常でのOJT指導を継続していきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	5	3	1	・組織的な決定と、保護者様への事前説明等は不足している。	・身体拘束についての事業所としての組織的決定と、保護者様への事前説明を行う。また、支援サービス計画への記載等については改めて見直しを行う。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	4	1	0	・食物アレルギーのあるご利用者保護者との連携を行っている。・エビペンを携帯しているご利用者については食事、おやつ時に他のご利用者と離し、掃除機をかけて食べ物が落ちていないか等に気を付けています。	・今後とも保護者様との情報共有を密に行うと共に、職員への周知を徹底して参ります。 ・学校等で用意されている食物アレルギー対応マニュアルを有効に活用し連携して参ります。 ・個別の対応説明書を整備し、有事の際は保護者との連絡、対応を徹底する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	0	0	・事故発生時のヒヤリハット報告への記載と対策対応の即時実施を徹底しています。	・継続すると共に、ヒヤリハット管理の一段の強化を行います。 ・事業単位ごとに発生した事故情報、対策対応情報を事業所全体で情報共有し、再発防止に役立てています。今後とも継続、強化します。 ・共有だけでなく活用する方法を周知。